

第3回 福岡市道路整備懇談会

日時 令和7年2月14日(金)13:30～

場所 エルガーラホール 7階 中ホール2

議 事 次 第

1. 開会

2. 議事

- (1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- (2) 福岡市道路整備アクションプラン2028(原案)について
- (3) 整備路線の選定について
- (4) 今後のスケジュールについて

資料1

3. 閉会

<配布資料>

座席表

資料1	説明資料(第2回道路整備懇談会の振り返りについて 他)
参考資料1	福岡市道路整備懇談会設置要綱・傍聴要領
参考資料2	第2回福岡市道路整備懇談会資料(資料1のみ)
参考資料3	第2回福岡市道路整備懇談会議事録

第3回 福岡市道路整備懇談会 座席表

日時：令和7年2月14日（金）13:30～15:00
場所：エルガーラホール 7階 中ホール2

オンライン参加
九州大学総合理工学研究院
教授・副理事

● 萩島 理

座長 福岡女子大学 国際文理学部

環境科学科 准教授



松永 千晶

福岡市老人クラブ連合会
常務理事

● 入江 晋 ●

福岡大学工学部
社会デザイン工学科 教授

● 柴田 久 ●

福岡市道路利用者会議
理事

● 甲斐 絵里 ●

福岡市住宅都市局
都市計画部長

● 松岡 淳 ●

福岡大学工学部
社会デザイン工学科 教授

● 村上 哲 ●

福岡観光コンベンション
ビューロー 事務局長

● 伊賀上 恵子 ●

福岡市障害者関係団体協議会
理事長

● 清水 邦之 ●

国土交通省九州地方整備局
福岡国道事務所所長

● 金井 仁志 ●

記者席

記者席

随席

傍聴席

傍聴席

スクリーン

事務局

事務局

事務局

出入口

第3回 福岡市道路整備懇談会

説明資料

目次

- 1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- 2) 福岡市道路整備アクションプラン
2028（原案）について
- 3) 整備路線の選定について
- 4) 今後のスケジュールについて

目次

- 1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- 2) 福岡市道路整備アクションプラン
2028（原案）について
- 3) 整備路線の選定について
- 4) 今後のスケジュールについて

第2回道路整備懇談会の振り返りについて

第2回 福岡市道路整備懇談会における主な意見 1/2

柱1：安全・安心でみんなにやさしい道づくり

- 自転車やキックボードが歩道上を通行することがあり、危険だと感じる
- 視覚障害者誘導用ブロックについて、車椅子やベビーカーなどが横断しやすいように一定間隔でスペースを開けて欲しい
- 幅員の広い道路など、一回の信号の間隔で渡りきれないことがあるため、中間地点に退避スペースを設けて欲しい
- 公共交通の利便性向上など、総合交通体系の構築を支える道路整備が重要
- 高齢になると、どうしても認知機能が低下してくるため、歩行者系都市サインを認知症の方を含む誰もが分かりやすいデザインにして欲しい
- 低学年の子たちの事故率が高いことなどから、歩車分離信号がもっと広がれば良い

柱2：都市の魅力・活力を高める道づくり

- 道路や歩道に鮮やかな色を塗ることのみで都市の魅力や活力が高まることはなく、逆に都市としての景観的魅力を下げる危険性がある
資料に道路舗装の色が派手な写真も含まれており、新しい道路整備の基本的な考え方に誤解が生じないように配慮する必要がある
- 参考事例に記載されている東京の丸の内仲通りは、街路樹が綺麗で道路も石でデザインされ、車が逆に通りにくいような設えになっており、エリアマネジメント団体と連携し、様々なイベントも開催されている。こういった通りを目指して欲しい
- 渋滞の酷い交差点などでは抜本的な交通渋滞の改善に向けた検討が必要
コストもかかると思うが、一部用地買収なども行い対策を講じていく必要がある

第2回道路整備懇談会の振り返りについて

第2回 福岡市道路整備懇談会における主な意見 2/2

柱3：災害に強い道づくり

- 狭い道路や住宅街、市民生活に直結するような道路、通学路や避難経路などでは、重点的に安全点検をしておくことが大切。
福岡市内の中心部では、50年以上経っているような擁壁もある、市の所有ではない所もあるが、危険な所が無いかを把握し、必要に応じて対策を講じる仕組みが必要
- 道路サポーターによる道路清掃について、様々な部署が似ている制度を持っており、窓口が分かりにくい状況も見受けられるため、しっかり連携して取り組んで欲しい

柱4：環境にやさしい道づくり

- 温室効果ガスの削減に関して、「渋滞解消による自動車交通流の効率化」、「公共交通機関と道路の適切な連携による自動車利用の抑制」、「ライフサイクルでの二酸化炭素排出量低減のため、適切な維持管理による道路インフラの長寿命化」などの取り組みも重要
- 再生可能エネルギーの活用に際して、昼間の余剰太陽光活用として、電気自動車の昼間充電が今後は重要になると予測される。
自宅での充電は夜間に行われる事が多く、地域としての電力需要の柔軟化、デマンドレスポンスへの貢献には制約があるため、今後は自宅以外の、道路とそれに付随する施設においても、EVの充電スポットが求められる可能性がある
- 温室効果ガスの削減に関する取り組みとして、製造段階におけるアスファルト合材の温度を下げることで、二酸化炭素排出量を低減するものなど、アスファルトやコンクリートなどの建設資材について検討して欲しい
- 遮熱性舗装については、舗装表面に遮熱材を塗布すると思われるが、赤外線反射に加えて、光も反射する場合、ドライバーの安全性の方に問題が出てくることから注意が必要

第2回道路整備懇談会の振り返りについて

《参考》第10次福岡市基本計画の原案に対する市民意見 (道路に関連する主な意見を抜粋)

- 高齢化が進んでおり、安心して暮らせるまちにするためには、スロープや点字ブロックなどのバリアフリーを増やすことが大切。
- 段差が少ないなど、高齢者が暮らしやすいまちにしてほしい。
- 障がい者の方にも暮らしやすい福岡市にするため、目の不自由な方が道路を安全に横断できるように音響信号機をもっと増やすべきだと思う。
- 車椅子の方などのためのバリアフリーを増やしてほしい。
- 自転車用の道路を増やしてほしい。
- 横断歩道を増やしてほしい。
- 道路や公園を掃除してほしい。
- 警固断層や南海トラフ等の地震発生リスクに備え、平時からソフト・ハード両面において、災害に強いまちづくりを進めてほしい。
- まちに街路樹などを増やすと、通勤中にも緑が見えて気分が上がっていくと思う。
- 子どもが道路沿いに花を設置する取組みは、子どもも楽しく、市としても花壇ができて環境にも配慮できると思う。

目次

- 1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- 2) 福岡市道路整備アクションプラン
2028（原案）について**
- 3) 整備路線の選定について
- 4) 今後のスケジュールについて

これまでに頂いたご意見や上位計画の内容、道路を取り巻く状況の変化などを踏まえ、道路整備の基本的な考え方及び主要施策を整理しました。

お気づきの点などございましたら、ご意見をお願いします。

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

道路整備の基本的な考え方、主要施策

上位計画の内容、道路を取り巻く状況の変化や市民や議会、道路整備懇談会の意見などを踏まえ、令和7年度から概ね10年間の「道路整備の基本的な考え方」、及びそれらを実現する、令和7年度から4年間(令和7年～令和10年)の「主要施策」を、以下のとおり整理しました

道路整備の基本的な考え方 (令和7年度から概ね10年間)

1. 安全・安心でみんなに
やさしい道づくり

2. 都市の魅力・活力を
高める道づくり

主 要 施 策 (令和7年度から4年間)

- すべての人が移動しやすい道路整備
 - ・道路のバリアフリー化 **拡充**
- 誰もが健康で活躍できる道路整備
 - ・外出を促すベンチなどの設置 **拡充**
- 交通事故から命を守る安全対策
 - ・通学路などの安全対策
 - ・効率的・効果的な安全対策

- 都市の骨格を形成する道路整備
 - ・幹線道路の整備
 - ・自動車専用道路の整備
- 既存ストックを活用した交通円滑化
 - ・ボトルネック交差点などの改善 **拡充**
- 総合交通体系の構築を支える道路整備
 - ・公共交通の利便性向上
 - ・都心部の交通対策 **拡充**
 - ・多様なモビリティに対応した道路空間の検討
- 彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出
 - ・楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用 **拡充**
 - ・地域の個性を活かした道路空間の整備
 - ・まちづくりと連携した道路整備

道路整備の基本的な考え方 (令和7年度から概ね10年間)

3. 災害に強い道づくり

4. 環境にやさしい道づくり

主 要 施 策 (令和7年度から4年間)

- 自然災害に備える道路整備
 - ・無電柱化の推進 **拡充**
 - ・橋梁耐震補強の推進
 - ・狭あい道路の拡幅整備
 - ・道路パトロール・道路啓開の実施
- 持続可能な道路の維持管理
 - ・計画的補修による橋梁などの長寿命化
 - ・維持管理の高度化・効率化
 - ・道路利用の適正化
- 市民との共働による道路保全
 - ・市民などによる道路の見守りの促進 **拡充**

- 温室効果ガスを削減する取組み
 - ・自転車活用の促進
 - ・低炭素な建設資材の活用 **新規**
 - ・道路照明灯、防犯灯のLED化
 - ・再生可能エネルギーの活用 **新規**
 - ・手続などのオンライン化 **新規**
- 気候変動に対応した道路整備
 - ・街路樹による道路緑化
 - ・環境に配慮した舗装材の活用 **新規**

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

道路整備の基本的な考え方、主要施策

柱1 における、道路整備の基本的な考え方、主要施策

道路整備の基本的な考え方 （令和7年度から概ね10年間）



1. 安全・安心でみんなに やさしい道づくり

主 要 施 策 （令和7年度から4年間）

- すべての人が移動しやすい道路整備
 - ・ 道路のバリアフリー化 **拡充**
- 誰もが健康で活躍できる道路整備
 - ・ 外出を促すベンチなどの設置 **拡充**
- 交通事故から命を守る安全対策
 - ・ 通学路などの安全対策
 - ・ 効率的・効果的な安全対策

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『すべての人が移動しやすい道路整備』

● 道路のバリアフリー化 拡充¹

すべての人々が社会参加に向けて安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた道路のバリアフリー化に取り組みます。

特に、「福岡市バリアフリー基本計画」に定める重点整備地区内の生活関連経路については、優先的に整備を進めます。

整備にあたっては、歩道のフラット化、段差のない縁石やエスコートゾーンの設定、踏切部の誘導表示などに取り組みます。

また、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるよう、英語表記の改善に取り組むとともに、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち「認知症フレンドリーシティ」を目指して、「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」に基づいた、**認知症の人にも分かりやすい道案内の検討**に取り組みます。

整備事例(歩道のフラット化)



整備事例(段差のない縁石)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『誰もが健康で活躍できる道路整備』

● 外出を促すベンチなどの設置 拡充¹

高齢者や体の不自由な人をはじめ、誰もが安心して外出できる環境をつくるため、歩道幅員が狭いバス停に幅をとらないベンチを設置するなど、引き続き、ベンチの設置に取り組みます。

また、Fitness Cityプロジェクトとして、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けづくりに取り組みます。

整備事例(休憩スポットの設置)



【大博通り】

整備事例(バス停ベンチ)



【大楠バス停】

整備事例(休憩スポットの設置)



【大博通り】

整備事例(交差点ベンチ)



【南警察署西口交差点】

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『交通事故から命を守る安全対策』

● 通学路などの安全対策

児童や未就学児など、誰もが安心して歩けるよう歩行空間の整備に取り組みます。

特に、地域住民の健康づくりやコミュニティづくりの場として活用されている小学校周辺の道路については、優先的に進めます。

また、幹線道路は、交差点の安全対策などに取り組むとともに、小中学校の通学路については、「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関と連携・協力し、安全対策に取り組めます。

整備事例（路側のカラー化）



整備事例（防護柵・車止め）



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『交通事故から命を守る安全対策』

● 効率的・効果的な安全対策

生活道路については、人優先の安全・安心な通行空間の確保を図るため、ビッグデータなどを活用し、最高速度30km/hの区域規制のほか、交通実態に応じて区域内における大型通行禁止などの各種交通規制を実施するとともに、ハンプやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせた「ゾーン30プラス」に取り組みます。

整備事例(ハンプ)



整備事例(スムーズ横断歩道)



1：安全・安心でみんなにやさしい道づくり



「道路整備の基本的な考え方」や「主要施策」
などについて、

お気づきの点などございましたら、ご意見をお
願います。

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

道路整備の基本的な考え方、主要施策

柱2 における、道路整備の基本的な考え方、主要施策

道路整備の基本的な考え方 (令和7年度から概ね10年間)



2. 都市の魅力・活力を 高める道づくり

主要施策 (令和7年度から4年間)

- 都市の骨格を形成する道路整備
 - ・ 幹線道路の整備
 - ・ 自動車専用道路の整備
- 既存ストックを活用した交通円滑化
 - ・ ボトルネック交差点などの改善 **拡充**
- 総合交通体系の構築を支える道路整備
 - ・ 公共交通の利便性向上
 - ・ 都心部の交通対策 **拡充**
 - ・ 多様なモビリティに対応した道路空間の検討
- 彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出
 - ・ 楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用 **拡充**
 - ・ 地域の個性を活かした道路空間の整備
 - ・ まちづくりと連携した道路整備

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『都市の骨格を形成する道路整備』

● 幹線道路の整備

市域内の拠点間の連携強化や、周辺市町との広域交流・連携のため、交通の円滑化を図るとともに、生活道路や通学路に流入する通過交通の排除を図るため、都市計画道路などの幹線道路の整備に取り組みます。



● 自動車専用道路の整備

本市南部地域や太宰府方面から福岡空港へのアクセス強化や空港周辺道路の渋滞緩和を図るため、福岡高速3号線の延伸事業に取り組みます。



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『既存ストックを活用した交通円滑化』

● ボトルネック交差点などの改善 拡充

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良に取り組むとともに、国土交通省が実施する国道3号博多バイパス立体化事業の促進に取り組みます。

特に、平均速度20km/h未満などの要件から「地域の主要渋滞箇所」として選定されている交差点のうち、渋滞長が長いなどの課題が多い交差点については、抜本的な交通渋滞の改善に向けた検討に取り組みます。

また、安全かつ円滑な高速道路ネットワークの形成を図るため、自動車専用道路のジャンクションやランプなど交通渋滞が発生しやすい箇所に対して、福岡北九州高速道路公社をはじめとする関係機関との相互連携を図り、交通渋滞の改善に取り組みます。

整備事例(右折レーン設置)



空港口交差点 交差イメージ図



整備事例(路面標示)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『総合交通体系の構築を支える道路整備』

● 公共交通の利便性向上

コンパクトな都市という強みを活かすとともに、市民生活を支え、来街者にも分かりやすく使いやすい交通体系づくりの実現を図るため、拠点駅等でのバスや鉄道の利便性を高める道路整備などによる交通結節機能の充実・強化や、バス事業者などと連携を図りながら、バス停への上屋の設置やバス停カットの整備などによる公共交通利用環境の改善に取り組みます。

整備事例(駅前広場)



整備事例(バス停カット)



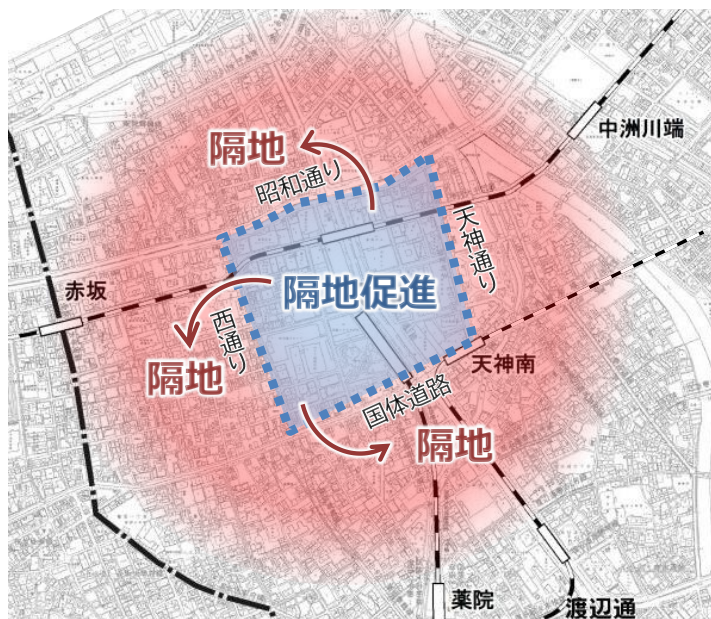
福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『総合交通体系の構築を支える道路整備』

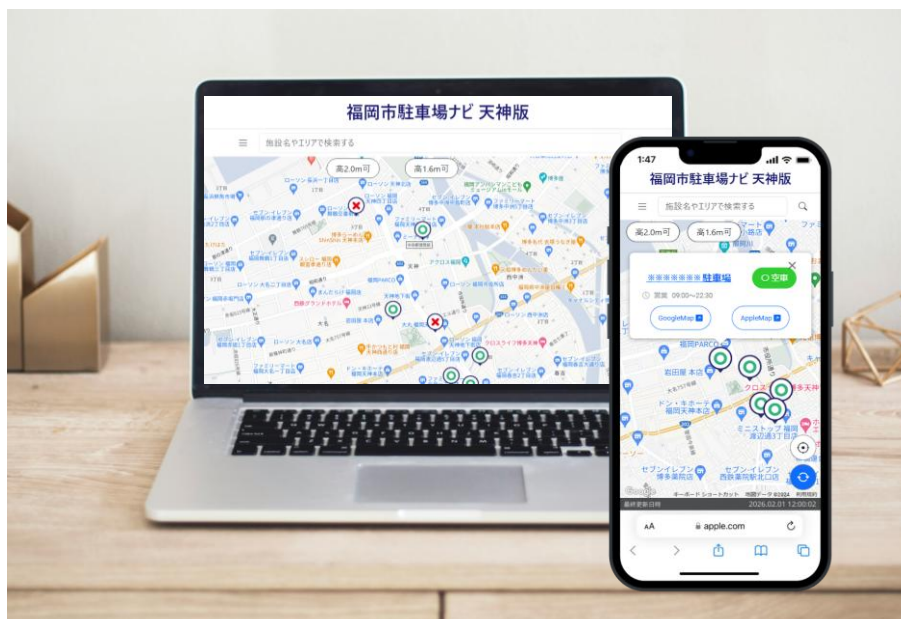
● 都心部の交通対策 拡充[△]

都心部内の道路交通混雑を緩和するため、天神通線の整備や駐車場の隔地化などを進めるとともに、スマートフォン等で天神周辺における駐車場の空き状況などが確認できる「駐車場満空情報システム」の運用と更なるサービス向上に取り組めます。

隔地化 概要図



駐車場満空情報システム



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『総合交通体系の構築を支える道路整備』

● 多様なモビリティに対応した道路空間の検討

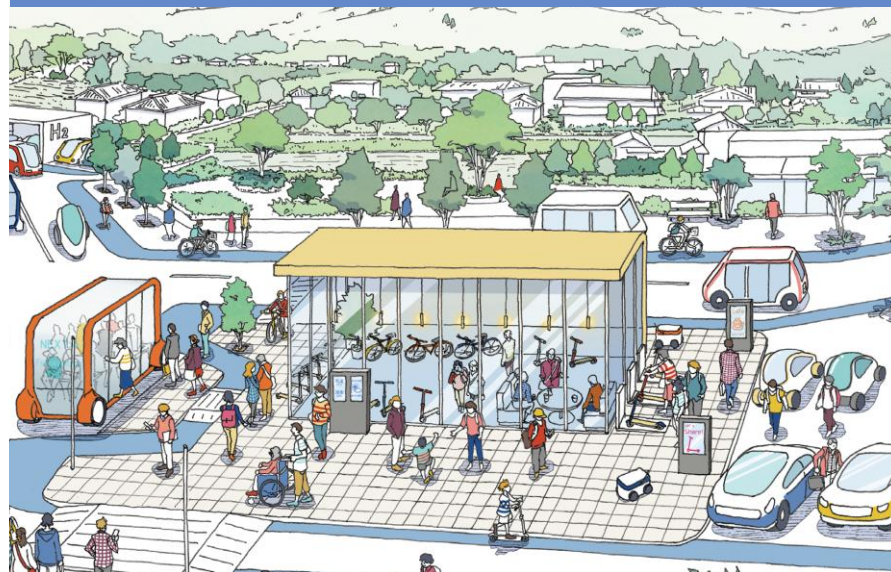
運転手不足や少子高齢化・人口減少による物流や生活交通の維持といった交通課題の解決に向け、自動運転やモビリティハブによる利便性向上など、国の動向や技術の進展などを踏まえながら、新たなモビリティに対応した道路空間の検討に取り組みます。

自動運転(物流)



資料：国土交通省(WISENET2050・政策集)

モビリティ・ハブ



資料：国土交通省(道路政策ビジョン2040)

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出』

● 楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用 拡充¹

誰もが魅力を感じ、安心して楽しく回遊でき、市民や来街者が集い憩い多様な活動ができるよう、人が中心となった緑豊かで彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出に取り組むとともに、「歩行者利便増進道路(ほこみち)制度」などによる、沿道と一体となった道路空間の利用・活用に取り組みます。

参考事例(丸の内仲通り)



資料:東京都

道路を活用したイベントの状況(天神)



主催:We Love 天神協議会

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出』

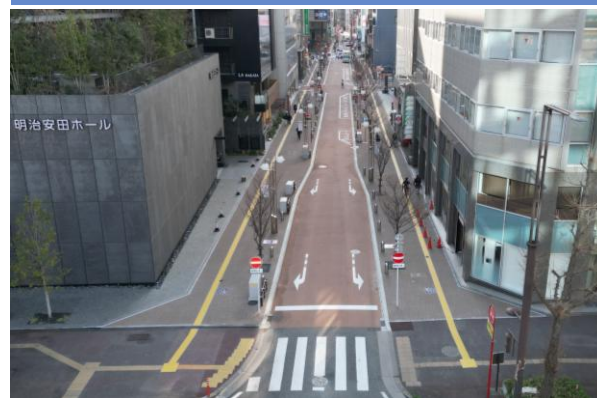
● 地域の個性を活かした道路空間の整備

美しく良好な都市環境を創造し、観光振興や地域活性化などを図るため、地域と行政が一体となって、歴史的建造物や街並み、豊かな自然環境など、地域の個性を活かした道路空間の整備に取り組みます。

整備事例(櫛田神社前)



整備事例(中洲中央通り)



整備状況(北崎)



整備イメージ(志賀島)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出』

● まちづくりと連携した道路整備

都心部や都市の成長を推進する魅力・活力創造拠点、市民生活の核となる広域拠点や地域拠点などにおいて、拠点の特性に応じたまちづくりを進めるため、拠点の魅力や集客力の向上、交通円滑化に向け、まちづくりと連携した道路空間の整備に取り組めます。



2：都市の魅力・活力を高める道づくり



「道路整備の基本的な考え方」や「主要施策」などについて、
お気づきの点などございましたら、ご意見をお願いします。

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

道路整備の基本的な考え方、主要施策

柱3 における、道路整備の基本的な考え方、主要施策

道路整備の基本的な考え方 （令和7年度から概ね10年間）



3. 災害に強い道づくり

主 要 施 策 （令和7年度から4年間）

- 自然災害に備える道路整備
 - ・ 無電柱化の推進 **拡充**
 - ・ 橋梁耐震補強の推進
 - ・ 狭あい道路の拡幅整備
 - ・ 道路パトロール・道路啓開の実施
- 持続可能な道路の維持管理
 - ・ 計画的補修による橋梁などの長寿命化
 - ・ 維持管理の高度化・効率化
 - ・ 道路利用の適正化
- 市民との共働による道路保全
 - ・ 市民などによる道路の見守りの促進 **拡充**

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『自然災害に備える道路整備』

● 無電柱化の推進 拡充[！]

地震や台風などの災害時における電柱倒壊による道路遮断の防止や、電力・通信網の切断被害の軽減に加えて、安全で円滑な交通確保や観光振興などを図るため、「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、緊急輸送道路や生活関連経路などの無電柱化に取り組みます。

無電柱化の推進にあたっては、電線管理者と協働で検討を重ねたファスト地中化や工事ヤードの常設化などの手法を活用しつつ、更なるコスト縮減とスピードアップに向けた検討を進めます。

整備前



整備後



【大原周船寺停車場線】

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『自然災害に備える道路整備』

● 橋梁耐震補強の推進

道路空間は、災害時における人命救助や消防活動などに不可欠な緊急輸送路及び防災空間としての機能を有するため、「福岡市橋梁耐震補強計画」に基づき、緊急輸送道路に架かる橋梁などの耐震補強に取り組みます。

整備前



整備後



● 狭あい道路の拡幅整備

生活道路において、交通安全や防災上支障となっている幅員4.0m未満の狭あいな道路を解消するため、必要な用地については寄付を受けながら、道路の拡幅整備に取り組みます

整備前



整備後



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『自然災害に備える道路整備』

● 道路パトロール・道路啓開の実施

人や自動車が道路を安心して・安全に利用できるよう、危険損傷箇所などを早期に把握するため、日常的に道路パトロールを実施しています。

また、大規模災害が発生した場合に備え、「福岡市地域防災計画」に記載された交通要注意箇所や緊急輸送道路などの幹線道路については、重点的にパトロールを実施するなど、状況の変化や異常箇所などの早期把握に努めます。

なお、大規模な災害が発生した際は、緊急車両などの通行のため、速やかに最低限のがれき処理や簡易な段差処理などを行うことで、救援・救護ルートの確保に取り組めます。

パトロール状況



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『持続可能な道路の維持管理』

● 計画的補修による橋梁などの長寿命化

道路施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図るため、「福岡市道路施設アセットマネジメント個別施設計画」などに基づき、計画的に定期点検や予防保全対策などに取り組みます。

修繕後(橋梁)



修繕後(舗装)



● 維持管理の高度化・効率化

ICTや地理空間情報を活用して、点検結果や調査箇所などの情報を統合し、劣化の傾向や優先度の分析を行うことに加えて、ドローンなどの新技術を活用した点検や地中レーダーによる路面下空洞調査を行うなど、維持管理の高度化と効率化を図ります。

調査事例(路面下空洞調査)



点検事例(ドローンの活用)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『持続可能な道路の維持管理』

● 道路利用の適正化

道路には、水道、下水道、電気、ガスなどが埋設されており、安全で快適な暮らしを保つためには、定期的な更新が必要となることから、路上工事にあたっては、各事業者と事前に調整を行いながら、計画的に工事を行っています。

また、のぼり旗や立看板など通行障害を引き起こしている不法占用物への対策を進めます。

道路工事の調整



不法占用物撤去状況



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『市民との共働による道路保全』

●市民などによる道路の見守りの促進 拡充[！]

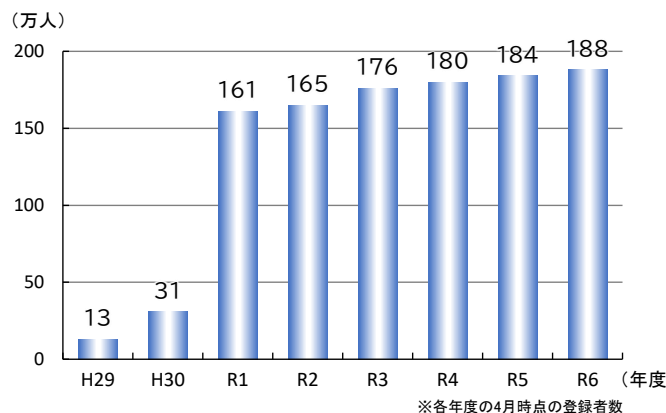
危険箇所などの早期発見と迅速な対応を図るため、市民が発見した危険箇所をスマートフォンアプリ「LINE」で通報していただくなど、市民などによる道路の見守りを促進します。

また、道路やまちへの関心と愛着を育み、市民と行政が一体となって美しく安全・安心なまちづくりを推進するため、**道路サポーター制度の登録団体数の増加に向けて、登録要件の緩和や登録団体の事務負担の軽減などに取り組み**など、地域住民やボランティア団体などとの共働による道路環境の保全に努めます。

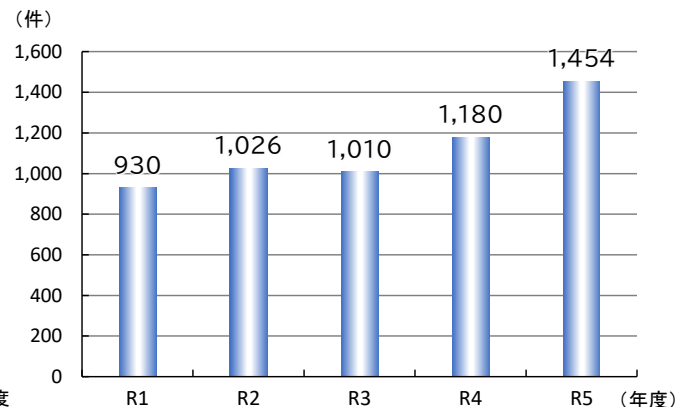
道路サポーターによる道路清掃



福岡市公式LINEアカウント登録者数



LINE通報件数



3：災害に強い道づくり



「道路整備の基本的な考え方」や「主要施策」
などについて、
お気づきの点などございましたら、ご意見をお
願いします。

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

道路整備の基本的な考え方、主要施策

柱4 における、道路整備の基本的な考え方、主要施策

道路整備の基本的な考え方 （令和7年度から概ね10年間）



4. 環境にやさしい道づくり

主 要 施 策 （令和7年度から4年間）

- 温室効果ガスを削減する取組み
 - ・ 自転車活用の促進
 - ・ 低炭素な建設資材の活用 **新規**
 - ・ 道路照明灯、防犯灯のLED化
 - ・ 再生可能エネルギーの活用 **新規**
 - ・ 手続きなどのオンライン化 **新規**
- 気候変動に対応した道路整備
 - ・ 街路樹による道路緑化
 - ・ 環境に配慮した舗装材の活用 **新規**

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『温室効果ガスを削減する取組み』

● 自転車活用の促進

歩行者の安全を確保しながら、自転車、自動車など、誰もが安全で快適に移動できるとともに、環境にやさしい自転車の活用促進を図るため、「福岡市自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備や市営駐輪場の整備・更新などに取り組みます。

整備事例(自転車通行空間)



整備事例(市営駐輪場)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

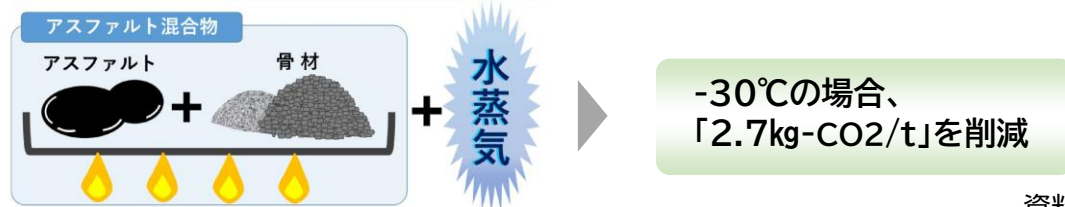
『温室効果ガスを削減する取組み』

● 低炭素な建設資材の活用 新規[！]

建設資材の脱炭素化を推進するため、道路工事において、二酸化炭素排出量の削減に効果的なアスファルトやコンクリートの導入に向けた検討に取り組みます。

低炭素アスファルト(イメージ)

アスファルト製造時の加熱温度を10～30℃下げること、二酸化炭素排出量を削減



資料: 東京都

低炭素コンクリート(イメージ)

セメント製造時に発生した二酸化炭素をリサイクルすることで、二酸化炭素排出量を削減



資料: 経済産業省

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『温室効果ガスを削減する取組み』

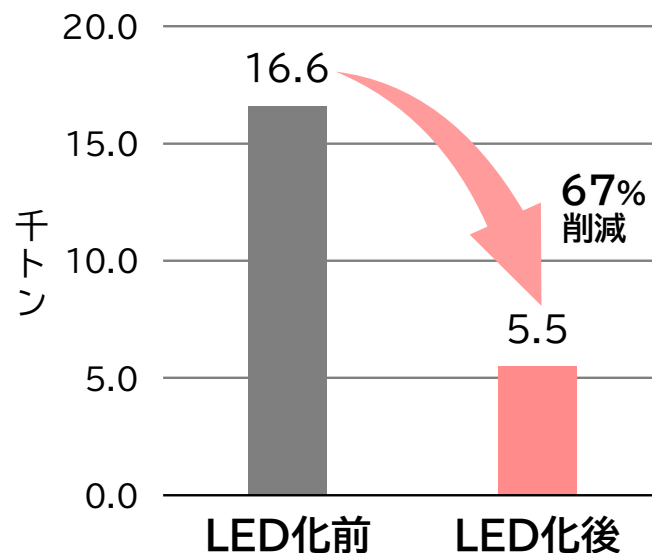
● 道路照明灯、防犯灯のLED化

電力使用量やそれに伴う二酸化炭素の排出量の削減、電球の長寿命化による維持管理費の削減などを図るため、本市が設置する道路照明灯のLED化を推進するとともに、地域が設置する防犯灯のLED化を促進します。

整備事例(道路照明灯LED化)



二酸化炭素排出量



※全ての道路照明灯(約3万5千基)をLED化した場合

福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『温室効果ガスを削減する取組み』

● 再生可能エネルギーの活用 新規[！]

二酸化炭素の排出量が実質ゼロとなる再生可能エネルギーの利用推進を図るため、道路施設への再生可能エネルギー電気の利用や太陽光発電の導入に向けた検討に取り組みます。

（参考事例）太陽光発電の導入



再生可能エネルギー電気の利用事例



● 手続きなどのオンライン化 新規[！]

人の移動に伴う環境負荷の低減を図るため、来庁の必要が無いノンストップ行政の実現をめざし、使いやすくて分かりやすいオンライン手続きなどの導入に向けて取り組みます。

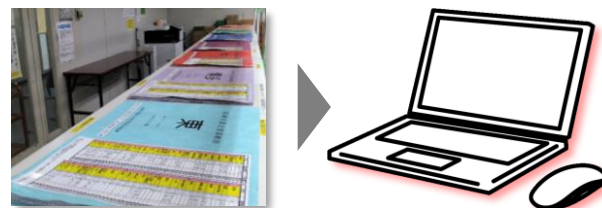
防犯灯補助金の電子申請(導入済み)

防犯灯補助金の電子申請



道路台帳図のオンライン閲覧

道路台帳図のオンライン閲覧に向けてシステム開発に着手(令和8年度供用開始目標)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

『気候変動に対応した道路整備』

● 街路樹による道路緑化

道路を緑化することにより、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するとともに、緑陰や良好な景観形成、自然環境の保全、二酸化炭素の吸収などの効果が見込まれることから、都心の森1万本プロジェクトなどと連携しながら、歩道などの幅員に配慮した街路樹の整備に取り組みます。

整備事例(街路樹)



整備事例(街路樹)



福岡市道路整備アクションプラン2028（原案）について

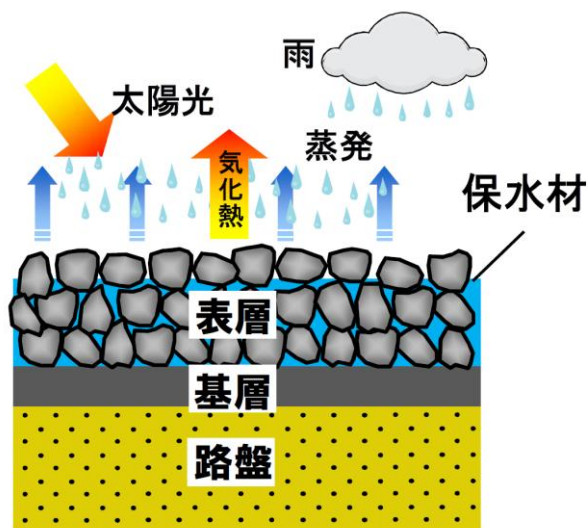
『気候変動に対応した道路整備』

● 環境に配慮した舗装材の活用 新規

これまで幹線道路や歩道に採用してきた車両の走行騒音の低減に効果のある低騒音舗装(排水性舗装)や雨水を地下に浸透させる透水性舗装に加え、ヒートアイランド現象の緩和や夏の日差しによるアスファルトの暑さ対策として、路面温度上昇を抑制する舗装材の導入に向けた検討に取り組みます。

保水性舗装

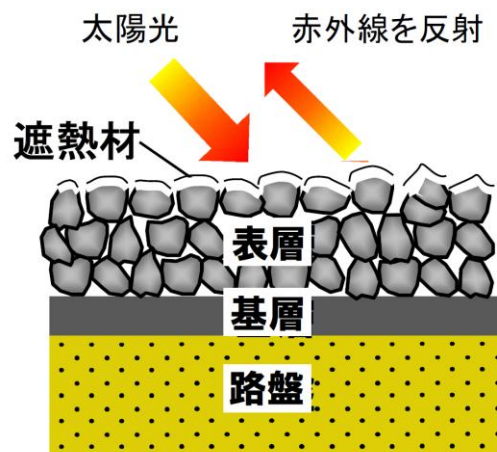
路面温度低減効果 約9～10℃
(降雨などによる保水が必要)



資料:国土交通省

遮熱性舗装

路面温度低減効果 約8～10℃



資料:国土交通省

4：環境にやさしい道づくり



「道路整備の基本的な考え方」や「主要施策」
などについて、
お気づきの点などございましたら、ご意見をお
願います。

目次

- 1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- 2) 福岡市道路整備アクションプラン
2028（原案）について
- 3) 整備路線の選定について
- 4) 今後のスケジュールについて

整備路線の選定について

整備路線選定の考え方

都市計画道路における未着手路線において、評価基準に基づき、整備の優先度が高い路線の抽出し、事業費なども含め総合的に勘案しながら、新たに取り組む路線を選定します。

福岡市都市計画道路延長 約506km

未整備区間（概成含む）
131区間 約75km

整備済区間延長 約431km
（整備率85%）

未着手区間 50区間 約32km

事業中区間・国直轄区間等 81区間 約43km

AP2024調査・検討路線

AP2024未掲載区間

AP2024期間中の
調査・検討の結果により評価

評価基準に基づく優先度評価
・道路整備の基本的な考え方
・地域の実情 等

評価対象外

整備路線の選定について

評価基準（案）

柱と主要施策	評価の観点	評価項目
1.安全・安心でみんなにやさしい道づくり		
●すべての人が移動しやすい道路整備 ●誰もが健康で活躍できる道路整備 ●交通事故から命を守る安全対策	歩行者の利便性や安全性の向上	○福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路や公共施設周辺のバリアフリー化 ○歩行空間の確保 ○小中学校周辺の安全性向上 ○事故危険箇所や過去に死亡事故が発生している箇所の安全性向上
2.都市の魅力・活力を高める道づくり		
●都市の骨格を形成する道路整備 ●既存ストックを活用した交通円滑化 ●総合交通体系の構築を支える道路整備 ●彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出	幹線道路ネットワークの形成や拠点へのアクセス強化	○自動車交通の円滑化 ○主要渋滞箇所の緩和 ○自動車専用道路のインターチェンジへのアクセス性向上 ○隣接都市との連携強化 ○主要物流拠点へのアクセス性向上
	公共交通の利便性向上と利用促進	○バスの定時性・速達性向上 ○鉄道駅等の交通結節点へのアクセス性向上
3.災害に強い道づくり		
●自然災害に備える道路整備 ●持続可能な道路の維持管理 ●市民との共働による道路保全	都市の防災力の向上	○緊急輸送道路や重要物流道路のネットワーク形成 ○広域避難場所へのアクセス性向上 ○要対策橋梁の改修 ○無電柱化の推進 ○狭あい道路の解消
4.環境にやさしい道づくり		
●温室効果ガスを削減する取組み ●気候変動に対応した道路整備	環境負荷の低減	○自転車通行空間ネットワークの形成 ○みどり豊かな道路空間の創出
5.地域の実情調査		
	車や歩行者などの通行や公共交通の利用に関する課題など	

整備路線の選定について

「整備路線選定の考え方」や「評価基準(案)」
について、

お気づきの点などございましたら、ご意見をお願いします。

目次

- 1) 第2回道路整備懇談会の振り返りについて
- 2) 福岡市道路整備アクションプラン
2028（原案）について
- 3) 整備路線の選定について
- 4) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて

本懇談会で頂いたご意見やパブリック・コメントでのご意見を踏まえ、引き続き、令和7年度の策定を目指してまいります。

本懇談会は、今回で一応の区切りとなりますが、適宜、ご報告させていただきますので、今後ともご助言等を賜りますようお願い申し上げます。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
プラン検討		原案の検討 パブリックコメント	最終案作成 策定
福岡市道路整備 懇談会		● ● ● 第1回 第2回 第3回	
議会	● 検討着手 (12月議会)	● ● 骨子案 原案 (9月議会)	● ● 最終案 成案